

景観重要樹木 第1号 東山旧岸邸の椿「太郎冠者」



名称	東山旧岸邸の椿「太郎冠者※ ¹ 」
所在地	御殿場市東山 1082 番地の 1
所有者	御殿場市
樹種	椿（太郎冠者）
指定年月日	平成 28 年 3 月 22 日 （枯死のため令和 2 年 7 月 22 日に指定解除）
外観の特徴等	この樹木は、一重咲きで濃い桃色の花が特徴であり、その控えめな咲き姿は古くから茶花としても好まれてきました。樹齢 400 年近いと推定される古木は、京都の等持院、月真院、東福寺等ごく限られた場所にしか現存しません。東山旧岸邸の太郎冠者は、同種の中でも最大級の樹冠を備えており、その希少価値と歴史性が地域のシンボルとして景観を特徴づけています。
用語解説	※ ¹ 太郎冠者 室町時代から江戸時代初期に生まれた園芸椿の古典品種であり、茶花として人気の高いワビスケの親とされています。織田信長の弟で秀吉や家康の家来となったのち出家した茶人織田有楽斎が好んだとされており、関西では有楽（うらく）と呼ばれています。
施設概要	東山旧岸邸 （開館時間） 4 月～9 月 10 時～18 時 10 月～3 月 10 時～17 時 （休館日） 毎週火曜日（祝日の場合は翌日） 12 月 29 日～1 月 3 日 その他詳細 https://www.kyu-kishitei.jp